

登録コード	L1143200	開講年度	2026	
担当教員	護山 真也	副担当		
授業科目	哲学・思想論発展演習 X II			
英文授業名	Philosophy Advanced Seminar X II			
授業タイトル				
単位数	2	対象学生		講義期間 後期 曜日・時限 水曜・5時限
講義室	人文第5講義室	遠隔授業科目		読替科目 読替科目は履修案内を確認すること
信大コンピテンシー	非該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		⇔	【授業の達成目標】
	2022Lカリ, 2021Lカリ			
	【2022年度以前カリ対象】過去の英知の批判的継承のうえに立って創造的な未来を切り拓く開拓力		⇔	仏教倫理の議論を読み解き、批判的考察を加えながら、自らの見解を展開することができるようになる。
	【2022年度以前カリ対象】他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシー		⇔	仏教倫理に関する議論を専門的見地から考察することを通して、現代社会の問題に通じる視点を見いだし、自己の主張を表現できるようになる。
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ			
	【2023年度以降カリ対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】		⇔	仏教倫理の議論を読み解き、批判的考察を加えながら、自らの見解を展開することができるようになる。
	【2023年度以降カリ対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】		⇔	仏教倫理に関する議論を専門的見地から考察することを通して、現代社会の問題に通じる視点を見いだすことができるようになる。
授業で学べる「テーマ」	多文化協働			
全学横断特別教育プログラム				
授業の概要	教科書に沿いながら、仏教倫理の主要なテーマを横断的に取り上げます。仏教と倫理の緊張関係をめぐる考察を通して、仏教と倫理双方の土台を問い直すことがこの演習の目的になります。教科書は一般向けに書かれたものですが、そこで取り上げられる仏教経典や論書については、図書館などで原典や翻訳にあたり、議論の背景を理解しなければなりません。発表者の発表資料をもとに、授業参加者全員で、論点を深く掘り下げるためのディスカッションを行います。つまり、教科書を素材としながら、どこまでオリジナルの議論を構築できるか、が発表者・参加者の双方に求められるということです。			
授業計画	第01回：イントロダクション 第02回：仏教も倫理も疑わしい／仏教の倫理性欠如 第03回：原始仏教の倫理性／菩薩の他者論 第04回：倫理から超・倫理へ／〈空〉の原理の曖昧さ 第05回：誰でも仏になれるのか／社会参加仏教は可能か 第06回：葬式仏教は悪いか／ 第07回：倫理の根拠としての〈人間〉／〈人間〉を逸脱する 第08回：他者の発見と宗教／宗教は倫理を乗り越える 第09回：宗教はしばしば倫理と妥協する／つきまとう他者 第10回：他者という迷路／〈愛〉もまた逸脱する 第11回：他者との一体化とナショナリズム／神仏関係をとらえなおす 第12回：自然は取り戻せるか 第13回：他者の極限としての死者／死者と関わる 第14回：死者が生者を支えている／戦争の死者たちは眠れない 第15回：死者なき倫理の限界／まとめと授業アンケート			
成績評価の方法	発表と質疑（e-ALPSコメントをふくむ）4割、レポート6割の比率で総合的に評価します。			
成績評価の基準	卓越している：テキストの内容を十分に理解し、周辺の資料にも目を配り、自分の意見を論理的に展開している。 かなり上にある：テキストの内容を理解し、周辺の資料の一部も参照しながら、自分の意見を述べている やや上にある：テキストの内容を部分的に理解し、自分の意見を述べている その水準にある：テキストの内容の要約はできている			
事前事後学習の内容	毎回の発表では、教科書の内容理解は当然として、そこで取り上げられる仏教のテキストについて、その原典の翻訳書にあたり、引用の文脈を確認すること、また、背景となる議論を自分で調べて、発展的議論（西洋の倫理学などの関連する議論との比較など）を展開することが求められます。発表担当者は分担箇所について上記の点を記したレジュメを作成します。担当者以外の人は、事前に発表箇所と発表レジュメを読み込み、生産的な議論ができるよう十分な予習を行ってください。また、演習後はそれぞれの発表および発言内容を振り返り、理解の足りなかった点を補う復習をしてください。			
履修上の注意	2年生以上でインド哲学に興味のある人であれば、履修できます。（基幹演習を前提とする演習ではありません。）			
質問、相談への対応	基本的にメール（smoriyam@shinshu-u.ac.jp）で受け付けます。授業後の質問も受け付けます。			
教科書	末木文美士『反・仏教学 仏教vs.倫理』（筑摩書房、ちくま学芸文庫、2013年）			

参考書	末木文美士『他者/死者/私－哲学と宗教のレッスン』（岩波書店，2007年） 末木文美士『明治思想家論（近代日本の思想・再考）』（トランスビュー，2004年） 和辻哲郎『人間の学としての倫理学』（岩波書店，岩波文庫，2007年）
-----	---